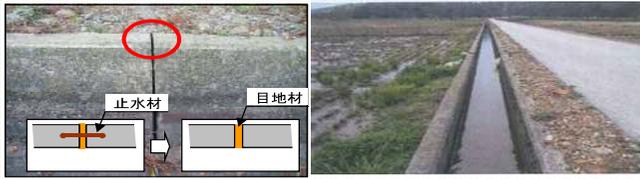


末端用水路（開水路・現場打ち水路）の劣化度判定基準

判定	A	B	C
破損	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路が水漏れするような破損はない ▪ 破損箇所は、補修をした 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水漏れするような破損箇所が数ヶ所ある 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 斜めや横方向にひび割れがある ▪ 細かなひびわれがあり、白や茶色いものがにじみ出している
摩耗	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 保全、更新を行い、摩耗はない。 ▪ 水路の底部で骨材が露出している ▪ 部分的に骨材が出ている 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路壁の高さの半分程度まで骨材が露出している。 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路の壁や底面の骨材がボロボロとはがれる ▪ 壁と底面との間に隙間が続いている
沈下や傾斜	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路底に泥がたまりやすい ▪ 通水に支障はない 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路の途中に水のたまりがある（深さ4cmまで） 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路の途中に水たまりがある（深さ4cm以上） ▪ 水路の壁が傾いている、クネクネとゆがんでいる
目地の漏水	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路の水漏れの痕跡はない ▪ 目地補修を行い、漏水を止めた 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 水路周辺の田がいつも湿ける ▪ 目地からの水漏れが何ヶ所もある ▪ 目地材がまったく無くなっている、止水材がない 	 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 補修した箇所で見地が広がってきた ▪ 水路の抱き土が流れ出ている。